

ポーランド写真館2012



第9回 総会&現地報告会
【東京】10月8日(月・祝):武蔵野芸能劇場
【大阪】10月13日(土):高槻現代劇場文化ホール展示室
 申し込み開始! 皆さまのご参加、お待ちしております。

山菜採りに出かけたソーマ(5年生)、野の花を手に

列島各地で集中豪雨などの自然災害が頻発していますが、被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。アフガニスタンでも6月、パンシール北方のバグラン地方で地震がありました。山の学校の地域では被害はなかったとのこと、皆様にご報告申し上げます。私もホッとしました。

7月8日、東京で「アフガニスタンに関する東京会合」が開かれ、その前日には、国連大学でパラレルイベント「アフガニスタン市民社会を迎えて」が行われました。その会場では300人の人々が集まり、在日アフガン人の姿も目立ちました。「祖国から離れていても、何とか再建に役立ちたい」と通訳やコーディネーターなどを買って出ているのです。その一人は「10年前の復興会議では市民グループはオブザーバーだったが、今回は本会議で発言権を与えられることになった。これは画期的なこと」と興奮気味に話していました。私は30人からなる訪問団の半分が女性だったことに新鮮な驚きを覚えました。

市民グループからは「政権の汚職や腐敗を止めるためには政府のトップが毅然と態度で示すべき」という意見が出され、「女性への暴行にどう対処するか」も論じられました。

翌日、各国代表が参加した本会議では、日本や世界各国からの巨額の援助が約束されましたが、それは、政権や一部の人間を潤すためのものでもなく、日本の政治家が好んで使う「子どもたちの未来のために」という抽象的な言い回しで終始しているものでもありません。今を生きる人々と子どもたちに向き合い、未来に連なるはずの「現在」を手助けするためのものとなるように心から祈っています。

最後になりましたが、10月8日の総会が迫ってまいりました。新たな企画を用意して皆様の来場をおまちしております。ぜひ、いらしてください。

長倉洋海



オマール(私)のフラフープの模範演技?
昔とった杵柄(きねづか)も形無し。

8年生の教室で。



【シュワイブ】



エコバッグを手に雪渓を歩いて、
ペパール村に帰るクラムディーン。

放牧が終わってから家畜をきちんと
戻して、やっと仕事が終わる。

かわいいっ。「おっ!」クレヨンしんちゃんだ!



【タマンナー】



ちょっと「ツツパリ」風? でも、2人とも
とても、気だてがいい子です。



姉と弟。何とも言えない
味わいがありますね。

「ぼくのお気に入りの白い羊だよ」



【ナルゲス】



弟2人とバーセット
(サフダル前校長の次男)。

アスラム家の長女ナフィサも
もう8年生。もう大人の雰囲気。

新校舎の前での記念
撮影。左からアスマと
ナシムゴルの姉妹たち。



ポーランド写真館 2012

今年も子どもカメラマンたちの誌上写真展を開催！
 学校や家でのくつろいだ表情、おしゃまな姿を
 長倉代表のコメントとともにおとどけます。
 昨年5月発行の20号でのポーランド写真館とも
 見くらべてみてください。
 子どもたちの成長ぶりが楽しいですよ！



【アブドラ・ラフマーン】

鉄棒がわりにぶら下がり。
 枝が切られてしまって可哀
 想な木が悲鳴を上げそう。



【クラムディーン】



【アズィマ】



雪溪の上を歩いて家に帰るのかな。
 小さな小さな1年生。



うう〜ん、なかなかの名作。
 「お〜い、雲よ。どこまで行くんかい」



【アブドラ・フッハーブ】



窓の外には岩山が迫っている。
 でも、この下にはたくさんのアンズが
 あって、春はここから花見ができるよ。



お父さん、いってらっしゃーい。
 仕事に行くのかな？ 畑に行くのかな？

家に戻って、幼い弟の子守りをするソナム。



【ジャムシッド】



【ファトナ】



アスラム一家。
 右は私のかばん持ちをしてくれた
 サフダルの息子バーセット。



学校の休み時間。
 サミールがすごい
 すごいジャンプ。
 カンフー？
 いや、縄跳びかな？

【アミン】



ムルサルさんのカブール通信

「トルコのドラマに夢中」 安井浩美



アフガニスタンは、ただ今断食の真っ最中。夏場の断食は、相当こたえます。毎朝日の出前2:30に起きて、何となくご飯を食べ（私の場合は、白米と惣菜、アフガン人は、朝からカブリパラオ*注を食べたりします）、その後は日没後の19:10にやっと食事がとれるのです。断食時間は、なんと15時間耐久レース並み。アフガニスタンで断食を迎えるのも11回目。私の場合日々食べ過ぎているせいか、逆に断食中は、体調が良かったりして。なんだか体や腹回りがすっきりした感じなのは、気のせいでしょうか？

さて、最近のアフガニスタンののはやりは、トルコのテレビドラマ。日本でもよくある、恋愛系のドラマなんです。アフガニスタンといえば、戦後インドの連続ドラマが大ヒット。2002年の開始当初には、ドラマの時間になると街から人や車が消える現象がおこったりしていました。しかし、あれから10年。インドドラマのようなやかましい音楽で理由もなく踊ったり、家庭内の嫁姑をテーマにしたどろどろした人間模様を描いたドラマから、一転、モダンな恋愛物語のドラマがアフガン人の心をとらえ、放映されるトルコドラマが次々ヒット。トルコのドラマは、トルコ語を現地語のダリ語に吹き替え。「イスラムに反する」と肌が露出する部分（胸元や足）には、モザイクがかかり余計に気になったりして。

そんな環境にもめげず、私も毎晩夢中のドラマは、「ファティマ・グル」。



胸元のほがしがチャームング。「ファティマ・グル」の1シーン。

トルコでもヒットしたこのドラマ、イズミールの田舎町に暮らす主人公のファティマ・グルが金持ちのボンボン3人に強姦されるシーンから始まります。が、アフガニスタンでは、この場面はカット。この事件のせい

でファティマ・グルは、田舎の慣習を重んじる婚約者と決別。裁判までこぎつけるも、金持ち息子たちの親が罪を隠すためにいろんなたくらみを企てます。と話すとき長くなるのでこの辺で。

まだまだごたごたしているアフガニスタンですが、人々の興味や意識の対象が、このドラマを見る限りでは、ずいぶん変わったような気がする今日この頃です。（このドラマについて気になる方はこのサイトを見てください <http://goo.gl/GhIL5>）

*注 カブリパラオ：羊肉もしくは牛肉汁で炊き込んだ、人参と干しブドウが入ったアフガン風かやく飯



カブール郊外にあるサフダル前校長のお墓が、安井浩美さん（ムルサルさん）のご厚意で立派になりました

以前の様子は本誌21号の「第8回公式訪問報告」にて写真を掲載しております。

墓碑に刻まれている文言(訳)は下記のとおりです。

唯一神アッラーの御名において
 サフダル校長、ゴラムハイダルの息子
 パンシール州バザラクホス地区
 ポーランド村出身

1351年(西暦1972年)生まれ
 6年間の教員ののちポーランドの学校で
 14年間校長としてつとめる
 1389年(2010年)アサツ月の10日(7月31日)
 日曜日、38歳で病に臥し没



広がれ！
 パネル展のわ
 JICA主催のパネル展が6月16日・札幌(リフレサツポロ)、6月17日・神戸(JICA関西)にてひらかれました。これは7月に行われた「アフガニスタンに関する東京会合」の関連イベントとして開催され、アフガン映画「子供の情景」の上映・長倉さんの講演がセットで行われました。

事務局から

- 第9回総会・現地報告会のご案内と申し込みはがきを同封いたしました。たくさんの方の参加を心よりお待ちしております。今回は、アフガニスタン出身の女性、江藤セテカさんによる講演も予定しています。また昨年ご好評をいただいた、これまでのパネル展で使用した写真プリントの販売も行います。ご期待ください。
- 2012年度分割会費の納入、ありがとうございます。未納の方には再度、振込用紙を同封いたしましたので納入くださるようお願いいたします。なお、残額会費を一括納入されても結構です。
- 不要の手紙、書き損じはがきの提供、大変助かっています。今回も会報送料のほとんどをご提供いただいた切手を贈ることができました。ご協力に感謝するとともに今後ともどうぞよろしくお願いたします。
- 住所変更の場合はお手数ですが事務局にご連絡をお願いいたします。



長倉洋海撮影
 JVC国際協力カレンダー2013
 「大地にうたう」販売のご案内
 長倉代表撮影のJVC国際協力カレンダー2013「大地にうたう」の案内チラシと申し込みはがきを同封いたしました。カレンダーは壁掛け1500円、卓上1200円。2種類で、会報の表紙を飾った写真も入っています。また今回は、カレンダーに使用されている写真のポストカードセット(6枚500円)もございます。収益の一部は当会に協力金として還元されますので、どうぞお買い求めください。なお、カレンダーとポストカードは東京の総会・現地報告会、大阪の報告会でも販売の予定です。

